

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <pre>graph TD; A["(管理体制図)"] --- B["(報告書作成提出)"]; B --> C["石川県"]; D["(集計・管理表提出)"]; E["(工事部長(産業廃棄物管理責任者))"]; F["(工事部(産業廃棄物管理担当者))"]; G["(建設現場 現場担当者)"]; F --> D; F --> G; G --> E; E --> B;</pre> <p>工事部長(産業廃棄物管理責任者) ・廃棄物処理計画の作成 ・処理実績の状況把握</p> <p>(報告書作成提出) → 石川県</p> <p>(集計・管理表提出)</p> <p>工事部(産業廃棄物管理担当者) ・処理実績の集計報告</p> <p>建設現場 現場担当者 ・委託契約書の作成締結 ・電子マニフェストの交付・管理</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
	排出量		
	(これまでに実施した取組) ・発生抑制を考慮した施工方法の推進 ・在庫管理の徹底（発注量抑制、確認） ・材料選定の工夫(使い捨てタイプ低減) ・乾燥による減量化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
	排出量		
	(今後実施する予定の取組) ・上記、現状の取組みを維持し推進する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類を種類ごとに分け、原材料として再利用出来るものを分別する。(混合廃棄物の減量) ・新規入場者教育等による関係者への教育を徹底する		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・場内スペースによるが分別してコンテナボックスを利用する ・新規入場者教育等による関係者への教育を徹底する		

(第3面)

【別紙】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の種類	① 現状		② 計画	
	【前年度（令和4年度）実績】		【今年度（令和5年度）計画】	
建設汚泥	排出量	284.35 t	排出量	10.00 t
	(これまでに実施した取組) ・乾燥による減量化		(今後実施する予定の取組) ・乾燥による減量化	
廃プラ	排出量	8.38 t	排出量	10.00 t
	(これまでに実施した取組) ・材料ロスの削減 ・使い捨てタイプの低減 ・分別の徹底		(今後実施する予定の取組) ・材料ロスの削減 ・使い捨てタイプの低減 ・分別の徹底	
廃タイヤ	排出量	0.59 t	排出量	0.00 t
	(これまでに実施した取組) _____		(今後実施する予定の取組) _____	
紙くず	排出量	0.42 t	排出量	0.00 t
	(これまでに実施した取組) _____		(今後実施する予定の取組) _____	
木くず	排出量	93.70 t	排出量	20.00 t
	(これまでに実施した取組) ・乾燥による減量化		(今後実施する予定の取組) ・乾燥による減量化	
金属くず	排出量	15.15 t	排出量	0.00 t
	(これまでに実施した取組) _____		(今後実施する予定の取組) _____	

(第4面)

【別紙】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の種類	③ 現状		④ 計画	
	【前年度（令和4年度）実績】		【今年度（令和5年度）計画】	
がれき類 (コンクリートくず)	排出量	2547.34t	排出量	800.00 t
	(これまでに実施した取組) _____		(今後実施する予定の取組) _____	
がれき類 (アスファルトくず)	排出量	1516.88t	排出量	130.00t
	(これまでに実施した取組) _____		(今後実施する予定の取組) _____	
管理型建設混合廃棄物	排出量	18.41t	排出量	10.00t
	(これまでに実施した取組) ・乾燥による減量化 ・種別ごとに分別の徹底		(今後実施する予定の取組) ・乾燥による減量化 ・種別ごとに分別の徹底	
	排出量		排出量	
	(これまでに実施した取組)		(今後実施する予定の取組)	
	排出量		排出量	
	(これまでに実施した取組)		(今後実施する予定の取組)	
	排出量		排出量	
	(これまでに実施した取組)		(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・処理業者選定時に再生利用業者を優先して委託する。 ・電子マニフェスト交付を推進するため、電子マニフェスト導入業者へ優先して委託している。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙のとおり」	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェストを積極的に利用し、確実な管理を徹底する ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

【別紙】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の排出の種類	① 現状		② 計画	
	【前年度（令和4年度）実績】		【今年度（令和5年度）計画】	
建設汚泥	全処理委託量	284.35 t	全処理委託量	10.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	284.35 t	優良認定処理業者への処理委託量	10.00 t
(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者への処理委託	再生利用業者への処理委託量	284.35 t	再生利用業者への処理委託量	10.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	—	認定熱回収業者への処理委託量	—
(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への処理委託	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—
	全処理委託量	8.38 t	全処理委託量	10.00 t
廃プラ	優良認定処理業者への処理委託量	—	優良認定処理業者への処理委託量	10.00 t
	再生利用業者への処理委託量	8.38 t	再生利用業者への処理委託量	10.00 t
(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者への処理委託	認定熱回収業者への処理委託量	—	認定熱回収業者への処理委託量	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—
(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者への処理委託	全処理委託量	0.59 t	全処理委託量	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	—	優良認定処理業者への処理委託量	—
廃タイヤ	再生利用業者への処理委託量	0.59 t	再生利用業者への処理委託量	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	認定熱回収業者への処理委託量	—
(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への処理委託	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—

【別紙】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の排出の種類	① 現 状		② 計 画	
	【前年度（令和4年度）実績】		【今年度（令和5年度）計画】	
紙くず	全処理委託量	0.42 t	全処理委託量	0.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	————	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	————
(これまでに実施した取組) ・再生利用業者への 処理委託	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.42 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	————
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	————	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	————
(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への 処理委託	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	————	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	————
	全処理委託量	93.70 t	全処理委託量	20.00 t
木くず	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	————	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	————
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	93.70 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	20.00 t
(これまでに実施した取組) ・再生利用業者への 処理委託	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	————	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	————
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	————	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	————
(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への 処理委託	全処理委託量	15.15 t	全処理委託量	0.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	————	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	————
金属くず	再生利用業者への 処 理 委 託 量	15.15 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	————
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	————	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	————
(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者 への処理委託	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	————	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	————

【別紙】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の排出の種類	③ 現状		④ 計画	
	【前年度（令和4年度）実績】		【今年度（令和5年度）計画】	
がれき類（コンクリートくず）	全処理委託量	2547.34 t	全処理委託量	800.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2405.57 t	優良認定処理業者への 処理委託量	800.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	2547.34 t	再生利用業者への 処理委託量	800.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	認定熱回収業者への 処理委託量	—
(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者 への処理委託	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者 への処理委託			
がれき類（アスファルトくず）	全処理委託量	1516.88 t	全処理委託量	130.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.80 t	優良認定処理業者への 処理委託量	130.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	1516.88 t	再生利用業者への 処理委託量	130.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	認定熱回収業者への 処理委託量	—
(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者 への処理委託	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者 への処理委託			
管理型建設混合廃棄物	全処理委託量	18.41 t	全処理委託量	10.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	優良認定処理業者への 処理委託量	—
	再生利用業者への 処理委託量	18.41 t	再生利用業者への 処理委託量	10.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	認定熱回収業者への 処理委託量	—
(これまでに実施した取組) ・再生利用業者への 処理委託	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への 処理委託			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。